



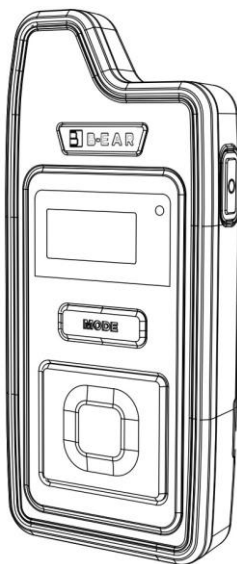
デジタル複数同時通話無線機

取扱説明書

BRIDGECOM X10 Athlete

ブリッジコム エクステン アスリート

BM-X10AT



安全のための注意事項

火災や人身事故防止のため、電気製品の使用には注意事項を必ずお守り下さい。



警告

万が一、変な音・においがしたり煙が出たら、

1. 電源を切る 2. 火気から遠ざける 3. 問い合わせる

*お問い合わせ先は本書最後に記載してあります。



危険

万が一、電池の液漏れが起きた場合。

- ・ すぐに火気から遠ざけて下さい。漏れた液や気体に引火して発火、破裂するおそれがあります。
- ・ 液が目に入った場合は、擦らず、すぐにきれいな水で充分に洗い、医師の治療を受けて下さい。
- ・ 液が口に入った場合は、すぐに口を洗浄し、医師の治療を受けて下さい。
- ・ 液が身体や衣服についた時は、水でよく洗い流して下さい。

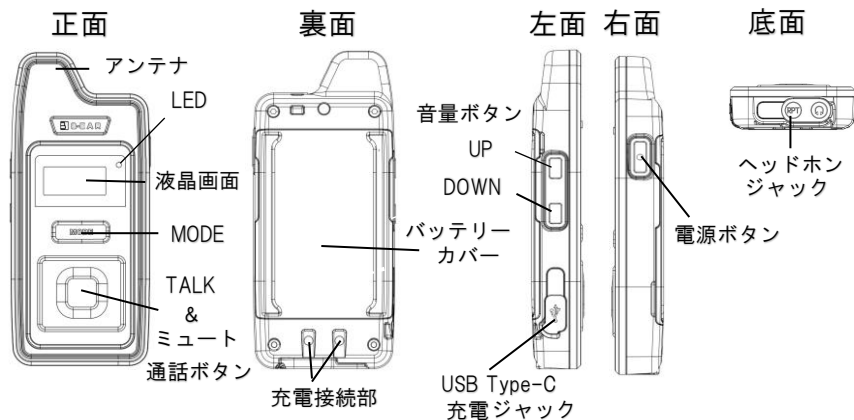


注意

必ずお守り下さい。

- ・ 高温・低温の場所に長時間放置しないで下さい。
- ・ 本製品は端子のゴム栓をしっかりと閉めた状態で完全防水となります。
- ・ 端子のゴム栓は、配線接続時以外は必ず栓をして下さい。ゴム栓がしっかりと閉まっておらず、端子から水や液が入り、水没させますと故障の原因になります。

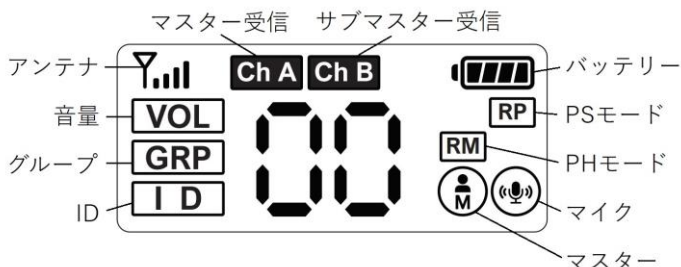
本体構造



付属品

- ・ バッテリーカバーオープナー
- ・ 取扱説明書（本書）

液晶画面



※ 最初に VOL が表示され、MODE を押すたびに、
GRP→ID→サイドトーン→マイク感度→VOX 機能→VOL
の順で設定が確認できます。

各種設定・使用における注意事項

1. 通信中にマスター設定された本機を操作すると、設定操作中はすべての機の通信が切断され通話できなくなります。

通信中の設定操作はお控え下さい。

また、その他の本機についても通信中に設定操作をすると、他機との通信が切断され、同グループ内の機器と通話が一時的にできなくなります。

2. 本機同士は必ず 10 cm 以上離してご使用下さい。近づき過ぎると干渉してしまい、プツプツと途切れる症状が出る場合があります。

3. バッテリーカバー、ジャックのゴム栓が、すべてしっかりと閉まった状態において防水性能 IPX4 が適合しております。

閉まっていない状態で、内部に液体・粉塵等が混入し、損傷が起こった場合は、保証対象外となります。

使用の前に

通信モードについて


本機には 2 種類の通信モードがあります。

それぞれのモードには特長がございますので、使用現場や状況に合わせて最適なモードを設定しご使用下さい。同じグループ内で 2 つのモードを混在させて同時に使用することはできません。

PH モード：中継接続モード（出荷時の初期設定）

マスター(親機) ID00 からの電波を、サブマスターID01 が子機 ID02～08/A/L へ中継する設定です。建物や壁、フロア違い、通話者間に障害物があるなど、入り組んだ現場に適しています。


ハンズフリー同時通話は、最大 10 台の間で通話可能です。

PH モード使用時には、アイコン  が表示されます。

PS モード：スプレッドモード

マスター(親機) ID00 をグループの中央付近に配置することにより、ワイドに安定的な接続が可能な設定です。ワンフロアや比較的近いエリアでの使用に適しています。PH モードに比べてマスターID00 と子機 ID01～08/A/L 間の通話距離がおよそ 1.5 倍に伸びます。

ハンズフリー同時通話は、最大 9 台の間で通話可能です。

PS モード使用時には、アイコン  が表示されます。

※ 詳しい設定については「9. 通信モード切替」を参照下さい。

使用方法

1. 電源オン／オフ

オン：電源ボタンを長押しすると、青色 LED が点灯し、液晶画面が表示され、数秒後にスクリーンセーブ（画面オフ）になります。

オフ：電源ボタンを長押しすると、液晶画面に OF が表示され、青色 LED が消灯し、電源がオフになります。

※ 液晶画面がスクリーンセーブ（画面オフ）になっている場合は、いずれかのボタンを押してスクリーンセーブを解除してから、本機を操作して下さい。

2. ヘッドホン接続 ※オプション別売品

ヘッドホンジャックのゴム栓を外し、ヘッドホンのプラグを接続して下さい。通話ボタン付きのヘッドホンを挿し込む場合は図1のように、ケーブルが本体の左側にくるように接続して下さい。通話ボタンが付いてないヘッドホンにつきましては、左右どちら側でも構いません。

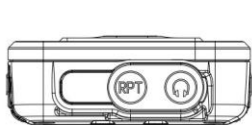
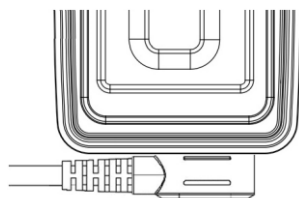


図 1



↑ しっかり
挿し込む

3. グループ設定 - 40 グループの設定が可能

MODE を長押しすると GRP が点滅し、図 2 グループ番号 2 桁 が表示されます。UP/DOWN を押して 00～39 から選択して下さい。設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。



図 2

※ 同時通話する機器のグループ番号は、同じ番号に合わせて下さい。

4. ID 設定 - 通話番号の振り分け

MODE を長押しし、GRP が点滅したら、再度 MODE を一回押すと図 3 ID 番号が表示され、ID が点滅します。UP/DOWN を押して、PH モードの場合は 00～09/A/L から選択し、PS モードの場合は 00～08/A/L から選択して下さい。図 4

※ 表示の順番は、PH モードの場合 00～08→A→L→09 となり、PS モードの場合 00～07→A→L→08 となります。

設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。



図 3



図 4

1. ID00 がマスター(親機)となり、マスターを基点に同グループ内の他機と接続します。
2. PH モードの場合 ID01 はサブマスターとなり、マスターの中継役にもなります。
3. PH モードの場合 ID02～09/A/L 、
PS モードの場合 ID01～08/A/L は、子機となります。
4. PH モードの場合 ID00～09/A 、
PS モードの場合 ID00～08/A は、同時通話が可能です。
5. PH・PS モード共に ID ‘A’ は、何台でも設定することができ、通話ボタンを押し続けることで同時通話に参加できます。
6. PH・PS モード共に ID ‘L’ は、何台でも設定することができますが、傍聴のみのリスニング専用機となります。

※ 1 グループにつき、必ず 1 台マスター(親機)ID00 を設定し、ID00 の電源が入っていないと、同じグループ内での通話できません。

※ ID は PH モードの場合 00～09、PS モードの場合 00～08 の番号をそれぞれ 1 台ずつ設定して下さい。

※ 同じグループ内において ID が重複すると正常に通話できません。
(PH・PS モード共に ‘A’ と ‘L’ は何台でも重複設定が可能です)

※ ID の設定は連番である必要はありません。

※ PH・PS モード共に、ID ‘A’ で通話できるのは、通話ボタンを押している TALK 状態の 1 機のみとなります。

※ PH モードの場合は ID09、PS モードの場合 ID08 が設定されおり、その PH ID09 もしくは PS ID08 が通話状態になっている場合は、ID ‘A’ の機器で通話ボタンを押しても通話はできません。

5. サイドトーン設定 - 自分の音声のオン／オフ

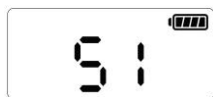
MODE を長押しし、GRP が点滅したら、再度 MODE を二回押すと
図 5 サイドトーンの設定値 が点滅します。

UP/DOWN を押して、S1～S5/SF から選択して下さい。図 5・6
サイドトーンをオン S1～S5 にすると、通話の際の自分の声が、
ヘッドホンやイヤホンから聞こえてきます。

S1⇒S5 と数値が上がる度に、サイドトーンの音量が上がります。

図 6 SF は、サイドトーンがオフになります。

設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。



～



図 5



図 6

6. マイク感度設定 - 通話する相手への聞こえ方の調整

MODE を長押しし、GRP が点滅したら、再度 MODE を三回押すと
図 7 マイク感度の設定値 が点滅します。

UP/DOWN を押して 1～8 から選択して下さい。

C1 が最も感度が低く、C8 が最も感度が高くなります。

設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。



～



図 7

※ マイク感度を高くすると、多少口元からマイクが離れても声を
拾いますが、感度が高過ぎることにより音割れしてしまうことが
ありますので、使用環境に合わせて調整して下さい。

7. セキュリティコード設定 - 傍受防止機能

MODE を長押しし、GRP が点滅したら、再度 MODE を四回押すと
図 8 セキュリティコード 1 桁目の設定値 が点滅します。

UP/DOWN を押してコードを選択して下さい。

グループ内で同じ 4 桁の英数字を設定しなければ、通信距離内、
同じ機種、同じグループであっても通話はできません。

よって、他の機器から容易に傍受されることはありません。

コードは 0～9、A、b、C、d、E、F の 16 英数字から選択できます。



図 8

MODE を一回押すたびに、左の数字は 1→2→3→4 となり、設定コードの位置を示し、右の数字は設定コードの値になります。図 9



図 9

例として、セキュリティコードを「A2b5」にした際は、図 10 の表示がされます。



図 10

※ 同じグループ内では、設定コードを同じ英数字に合せて下さい。

※ 初期設定は、「0000」に設定されているので、

10→20→30→40 の順番で表示されます。

設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。

8. ローミング選択 - PH 設定での受信選択

※ PH モードに設定している機器において

MODE を長押しし、GRP が点滅したら、再度 MODE を八回押すと図 11 ローミングの設定値 が点滅します。UP/DOWN を押して、以下のローミングタイプ一覧から選択して下さい。

設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。



図 11

H0	子機設定された本機がマスターとサブマスターの最適な電波を自動受信
H1	子機設定された本機が電源を押す度に、マスターとサブマスターの電波を手動切替で受信
H2	子機設定された本機がマスターの電波のみを受信
H3	子機設定された本機がサブマスターの電波のみを受信

子機設定された本機が、マスター設定からの電波を受信した場合には、図 13 'Ch A' が表示され、サブマスター設定からの電波を受信した場合には、図 14 'Ch B' が表示されます。

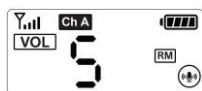


図 13

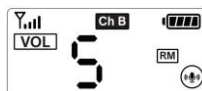


図 14

※ PS モードの場合、ローミング選択はありません。

※ マスターとサブマスターに設定された本機には関係ありません。

9. 通信モード切替 - PH モードと PS モード

MODE を長押しし、GRP が点滅したら、再度 MODE を PH モードの場合は九回、PS モードの場合は八回押すと、通信モード設定が表示され、図 15 'PH' もしくは 図 16 'PS' が点滅します。

UP/DOWN を押して通信モードを選択して下さい。

設定後、MODE を長押しすると確定され、電源がオフになります。

図 15



図 16



PH モード：中継接続モード（出荷時の初期設定）

マスター(親機) ID00 からの電波を、サブマスターID01 が中継する設定です。建物や壁、フロア違い、通話者間に障害物があるなど、入り組んだ環境に適しています。

ハンズフリー同時通話は、最大 10 台の間で通話可能です。

ID00～09 と'A' は同時通話が可能、'L' は傍聴のみとなります。

使用時のアイコン表記 **RM**

PS モード：スプレッドモード

マスター(親機) ID00 をグループの中央付近に配置することにより、ワイドに安定的な接続が可能な設定です。

ワンフロアや比較的近いエリアでの使用に適しています。

PH モードに比べて、マスター(親機)ID00 と子機 ID01～09 間の通話距離がおおよそ 1.5 倍に伸びます。

ハンズフリー同時通話は、最大 9 台の間で通話可能です。

ID00～08 と'A' は同時通話が可能、'L' は傍聴のみとなります。

使用時のアイコン表記 **RP**

※ 通信モード切替は他の設定変更とは異なり、通信モード選択後に MODE を長押しすると確定され、電源がオフになります。

再び電源を入れ直すと、変更した通信モードに設定されます。

※ PH もしくは PS を選択後、MODE を長押しせず、他の項目へ移動してしまうと通信モードは変更されませんので、通信モード選択後は、必ず MODE を長押しし、変更を確定させて下さい。

※ 2 つのモードを混在させて同時に使用することはできません。


10. VOX 機能 - マイクが音を拾うと TALK がオンになる機能
MODE を長押しし、GRP が点滅したら、再度 MODE を PH モードの場合は十回、PS モードの場合は九回押すと、図 17 VOX 設定値 が点滅します。UP/DOWN を押して VOX 機能を選択して下さい。
設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。



図 17

AF	VOX 機能オフ。常に TALK オン状態
A0～A4	A0 が最も感度が高く、A4 が最も感度が低い

VOX とは「Voice Operated EXchange」の略で、VOX 機能をオンに設定すると、ある一定の声や音にマイクが自動的に反応し、通話が可能となる機能です。設定した一定のレベルに達しない声や音に対しては、マイクは反応しません。

VOX 機能がオンの設定で、マイクが声や会話、音を拾うと、マイクアイコン  が点灯し、TALK オンとなります。図 18

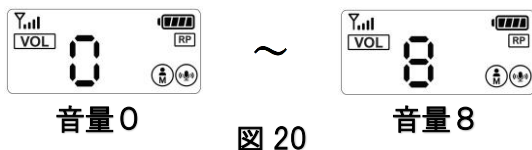
マイクからの入力がなく、無音で 5 秒経過すると、自動的に TALK オフとなり、マイクアイコンが消えます。図 19



- ※ VOX 機能は、マイクが拾う声や音に反応して自動的に TALK スイッチが入るため、声や会話、音の頭切れがあります。
- ※ PH・PS モード共に ID ‘A’ では、VOX 機能をオンに設定しても、自動的に TALK オンにはなりません。

1 1. 音量設定

UP/DOWN を押して音量調整して下さい。音量は 0～8 段階です。



1 2. 通話音

下記の通知音で、状態をお知らせします。


- 「ププ」——・TALK オン にした時
 - ・ 通話距離範囲内に戻った時
- 「プププ」—・TALK オンを自ら外しトークオフにした時
 - ・ 通話距離範囲外に離れた時


※ VOX 機能オンの場合は、通知音は鳴りません。

1 3. 通話方法 - TALK オン/オフ

本機の電源を入れ、ヘッドホンやマイク、イヤホンなどを接続し、グループと ID の設定が完了すると通話可能となります。

PH モードの場合 ID00～09 ・ PS モードの場合 ID00～08

TALK アイコン  が点灯している時に、通話ボタンを長押しすると、通知音「プブ」と共に TALK アイコンが消え、TALK オフとなり、傍聴のみになります。図 21

TALK アイコンが消灯している時に、通話ボタンを長押しすると、通知音「プブ」と共に TALK アイコン  が表示され、TALK オンとなり、通話が可能です。図 22

通話ボタン付マイクの使用時においては、通話ボタンを長押しすることで TALK オン/オフを切り替えます。

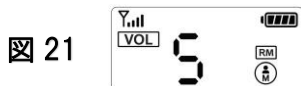


図 21

TALK オフ

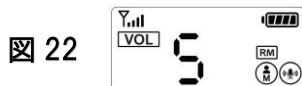



図 22

TALK オン

PH・PS モード共に ID ‘A’ に設定された機器について

ID ‘A’ 機は何台でも設定できますが、同時通話に参加できるのは、1 台ずつとなります。ID ‘A’ に設定された本機で同時通話に参加する場合は、通話ボタンを押し続け、TALK アイコン  が点灯している 1 機のみとなり、その他の ID ‘A’ 機は傍聴のみとなります。同時通話に参加している ID ‘A’ 機の通話ボタンを放し TALK オフになれば、その他の ID ‘A’ 機は同様の操作で同時通話が可能です。ID ‘A’ 機では、通話ボタンを押しながらの通話になります。同様に、通話ボタン付のマイクも、押しながらの通話になります。

※ PH モードの場合は ID09、PS モードの場合 ID08 が設定されているグループにおいて、PH ID09・PS ID08 が通話状態になっている時に、ID ‘A’ 機が通話ボタンを押しても通話はできません。

PH・PS モード共に ID ‘L’ に設定された機器について
常時傍聴のみのリスニング専用機となります。

14. バッテリー残量

バッテリー残量は液晶画面の右上に表示されます。図 23・24
連続通話時間は、満充電からおおよそ 8 時間です。

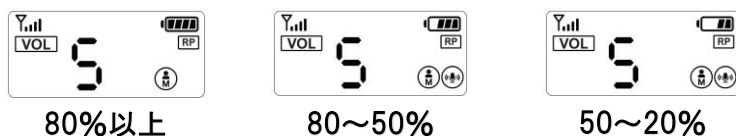


図 23

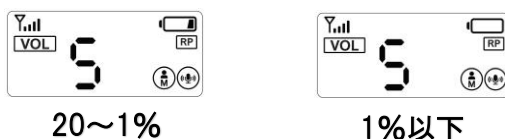


図 24

※ バッテリー残量が 1%以下(残り 7 分程度)になると、
数分毎に「プププ」とアラームがなります。

15. 充電

充電は、専用充電器(品番 BM-X10ac)に、本機を直接挿し込むか、USB Type-C ジャックに USB 充電ケーブルを本機に直接接続して充電して下さい。充電中は LED が赤く点灯し、充電が終了すると消灯します。バッテリーを使い切った状態から、満充電までにかかる時間は、およそ2～3時間です。

16. バッテリー交換

バッテリー交換は、バッテリーカバーの4ヶ所の横溝へ、付属のバッテリーカバーオープナーを差し込み、少しずつねじるようにして、バッテリーカバーを外して下さい。図 25

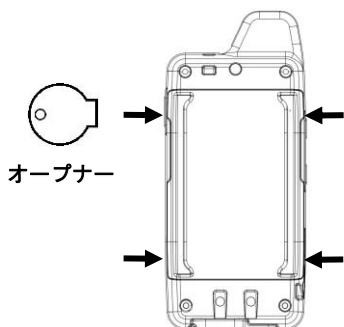


図 25

17. リセット - 初期化

UP/DOWN を両方押しながら、電源ボタンを同時に長押しすると、液晶画面に図 26 が表示され、電源がオフになり、すべての設定が出荷時の初期設定にリセットされます。

図 26



仕様

周波数	ISM 2.407～2.476GHz
電波形式	GFSK - FHSS
定格出力	10mW
受信感度	- 95dBm
音声CODEC	16bit/8KHz
チャンネル数	40チャンネル
動作時間	およそ8時間
電池容量	1100mA/DC3.7V 充電式リチウムイオン電池
サイズ	H120 x W53 x D18.5
重量	106g
防水性能	IPX4 ※1
動作温度範囲	- 10～+ 60℃
認証	工事設計認証020-220017、FCC、CE、RoHS

※1. バッテリーカバー、ジャックのゴム栓がしっかりと閉まった状態にて

保証とアフターサービスについて

保証期間は、お買い上げ日から 1 年間(本体のみ)となります。
修理を依頼される際は、お買い求め頂いた先へご相談下さい。

品名：ブリッジコム X10 アスリート
品番：BM-X10AT

株式会社ベアリッジ
お問い合わせサイト：<http://bearidge.com/>
電話：0569-89-7969

